

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	幹線道路整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	利便性 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'03	3まちの活動に活力をもたらす公共交通の利便性を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
交通混雑の緩和が図られるとともに、地域の住環境も向上しています。		住環境の向上と交通の円滑化のため、幹線道路を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標	指標名	幹線道路整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの整備累計(515m)に対する当該年度までの整備累計の率					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	27	37	69	69		
	実績	36	37	77			
成果指標	指標名	幹線道路用地買収進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの用地買収累計(1,411㎡)に対する当該年度までの用地買収累計の率					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	23	53	53	74		
	実績	23	74	81			
進捗状況	：予定どおり						
	遅れている理由						
平成26年度の主な取組と成果							
南原河内線の整備を行いました。また、真土金目線の用地買収を行いました。							
平成26年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	周辺地域の幹線道路を相互に連絡することになり、地域の骨格を形成する幹線道路の整備の必要性は高いと考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	幹線道路を整備することで交通混雑の緩和が図られ、有効性が高いと考えます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	住環境の向上と交通の円滑化のため妥当性が高いと考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	幹線道路と幹線道路とが連結されることにより、交通体系の効率性が高まります。	高中低
今後に向けた課題の分析		幹線道路の整備は用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		用地買収、補償	工事、用地買収、補償	幹線道路の整備	幹線道路の整備
財源内訳	国庫支出金	0	0	35,392	82,500
	県支出金	0	0	0	0
	起債	5,000	184,300	72,000	93,100
	その他 特財	0	0	170	0
	一般財源	1,440	44,989	19,385	10,400
事業費 (A)		6,440	229,289	126,947	186,000
執行率 (%)		73.63	100.00	99.62	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針	交通渋滞の緩和や住環境の向上のため、引き続き幹線道路整備の推進に取り組みます。
課長コメント	幹線道路を整備することにより、交通混雑の緩和を図り、地域の住環境の向上を目指します。